

ゆめ旅 KAIGO!! フォーラム Vol.8

ゆめ旅 KAIGO ! フォーラム実行委員会

〒120-0038 東京都足立区千住橋戸町 12-1-701

助成事業の概要

実施目的…「あなたの『夢』が誰かの『希望』に！
～医療的ケア児と家族のものがたり」をテーマに、
医療的ケアが必要な子どもたちとその家族の現状
や思い、制度理解などを共有すべく実施した。

・時期 実施日 2024年1月28日(日) 13:00
～15:00 Zoom 参加者100名

・登壇者、内容等

フリーアナウンサー町亞聖氏の司会のもと、「医療的ケア児も旅がしたい」と題したパネルディスカッションでは、NPO 法人ソルウェイズ運上佳江氏、元 NHK アナウンサー内多勝康氏、医療法人社団オレンジ西出真悟氏、NPO 法人ゆめのめの大高美和氏を迎え、各々の視点から貴重な洞察を提供。さらに、内多氏から「医療的ケア児の旅行の実現に向けた活動や地域コミュニティ形成の試みが紹介された。「ゆめ旅 KAIGO!!」は、「五輪レガシーから始まる、誰もが自由な旅」をスローガンに掲げているが 8 回目となる今回は、医療的ケアが必要なすべての人々が支え合う社会の重要性を伝えた。

事業の成果

「ゆめ旅 KAIGO ! オンラインフォーラム Vol.8」は、「あなたの『夢』が誰かの『希望』に！」をテーマに、2024 年 1 月 28 日に Zoom ウェビナー形式で開催された。本フォーラムは、医療的ケアが必要な子どもたち及びその家族が直面する挑戦に焦点を当て、彼らの生きる力と希望を共

有する場を提供した。このイベントは、医療的ケアが必要な子どもたちやその家族に、社会全体で支え合うことの重要性を伝える機会として位置づけられている。

フォーラムでは、医療的ケア児とその家族の生活および、支援者の取り組みに、スポットライトを当て、これらの経験を共有した。このアプローチにより、参加者に対し、医療的ケアが必要な子どもたちの日常とそれを取り巻く課題に対する深い理解と共感を促すことができた。さらに、多様なバックグラウンドを持つパネリストの洞察により、実際の支援活動の現場からの声を直接聞くことが可能となった。

専門家パネリストとして、NPO 法人ソルウェイズの運上佳江氏、元 NHK アナウンサーであり「もみじの家」のハウスマネージャーである内多勝康氏、医療法人社団オレンジの副代表である西出真悟氏、重症児デイサービスを運営する NPO 法人ゆめのめの理事長である大高美和氏が登壇した。これらのパネリストは、医療的ケアが必要な子どもたちとその家族への支援に関する貴重な知見を提供し、参加者との間で有意義な情報交換が行われた。

特別プログラムでは、「つながるゆめ旅」と「ポッチャによる地域交流会」が実施された。これらのプログラムは、医療的ケア児の旅行に対する思いや、地域コミュニティ形成の試みを通じて、参加者に新たな視点を提供した。具体的には、医療的ケア児も旅行を楽しむことの可能性と、スポーツを通じた地域コミュニティの強化についての実例が紹介された。

本フォーラムの成果として、医療的ケアが必要な子どもたちとその家族の課題への理解を深め、それらに対する支援の輪を広げることが挙げられる。参加者は、医療的ケアが必要な子どもたちやその家族が直面する日常の課題について学び、それに対する共感と理解を深めた。また、フォーラムを通じて、関係者間での連携強化と情報共有の重要性が再認識された。

■ 成果の広報・公表

このフォーラムは、医療的ケアが必要な子どもたちとその家族に関する理解を深めるという点で顕著な成果を上げた。具体的には、参加者に対して医療的ケアが必要な子どもたちの日常生活や、その家族が直面する課題についての認識を高め、社会全体の共感と支援を促進することに寄与した。専門家による貴重な洞察の共有や特別プログラムを通じて、医療的ケアが必要な子どもたちの可能性や、家族の支援に対する新たな視点も提供できた。これらの成果は、ウェブサイトやソーシャルメディアを通じて積極的に公表する。これにより、フォーラムの内容や医療的ケアが必要な子どもたちとその家族への理解が、参加者に限らず広い範囲の人々に伝わることを期待される。さらに、フォーラムに参加できなかった人も情報を得やすいよう工夫する。こうした取り組みにより、医療的ケアが必要な子どもたちとその家族に対する支援の輪を広げ、社会全体での理解促進に寄与していく。

■ 今後の展開

「ゆめ旅 KAIGO！フォーラム実行委員会」は、今回のテーマの重要性を再認識した。医療的ケアが必要な子どもたちとその家族に焦点をあて、第一線で活躍するゲストやパネリストの話を通じて

明らかになったことについて、これらを共有し、継続発展を見据える。これらの話は、参加者だけでなく、実行委員会自身にも深い印象を与え、今後の展望を模索する動機付けとなった。

これらを踏まえ、本会は、医療的ケアが必要な子どもたちとその家族を支援するテーマに引き続き取り組むことを決定した。今後、より多くの人々にこのテーマの重要性を伝え、社会全体の理解と支援を促進するための活動を継続する計画である。具体的には、フォーラムの内容をより幅広い層に伝えるための公表活動の強化、新たな専門家や経験者の招聘、そして実際に医療的ケアが必要な子どもたちやその家族の声を直接聞く機会の提供を拡大していく予定である。これにより、「ゆめ旅 KAIGO！フォーラム実行委員会」は、医療的ケアが必要な子どもたちとその家族に対する社会的支援の充実を目指していく。